

1 この科目の構成について

教 科	外国語	科 目	コミュニケーション英語Ⅱ	単 位	3単位
対象コース	情報ビジネス コース	対象クラス	2年 6組		
使用教科書	BIG DIPPER English Communication I BIG DIPPER English Communication II				
使用副教材	BIG DIPPER English Communication I Workbook BIG DIPPER English Communication II Workbook キクタン(Entry)2000				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
<p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。</p> <p>この科目は、すべての生徒が履修する「コミュニケーション英語Ⅰ」での学習を踏まえ、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばすように設定されたものである。</p> <p>「コミュニケーション英語Ⅱ」の目標は、次の二つの要素から成り立っている。</p> <p>① 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成すること。</p> <p>② 英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばすこと。</p>	
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
<p>生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するような言語活動を英語で行う。</p> <p>ア事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる</p> <p>エ聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p>	
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
<p>(1) 学校 「学習の基本は授業」であることを自覚し、先生の話をよく聞く。大切なところはノートに書く。辞書を積極的に活用する。宿題はしっかりとやり、提出物は期限を守って提出する。当たり前の事を当たり前にやっていけば良いのです。そしてアクティビティの場面では自ら積極的に楽しんで下さい。</p> <p>(2) 家庭 次の授業に備えてのパラチャートを利用した予習やワークブックを活用した復習、音読は毎日欠かさず行い、暗記して何も見なくても英文が言えるまで高めましょう。</p>	

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何をを使って評価するのか—
<p>定期考査70% 授業に対する取り組み10% 課題提出10% 毎週実施の英単語テスト10%</p>	
評価における定期考査の割合	
70%	

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
<p>(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>(2) 表現の能力 英語で話したり、書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。</p> <p>(3) 理解の能力 英語を聞いたり、読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。</p> <p>(4) 言葉や文化についての知識・理解 英語やその運用についての知識を身につけているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。</p>	

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—		重視する評価の観点			
期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知
1	4	《English Communication I》 Lesson 6 Champy : Japan's First Guide Dog (10時間) 道徳教育を実施	【コミュニケーション】本文を読んだ後、盲導犬にまつわる現在の状況とその改善方法を考えたり、調べたりして発表する。また人の発表を聞いてその趣旨を理解する 【表現】過去完了形を用いて、正しい文を書く 【理解】盲導犬の忠心と訓練士の愛情を理解し、塩谷氏が日本で初めての盲導犬を要請した経緯を理解する 【知識・理解】①基本的な関係代名詞の用法を理解し、英文を理解する②盲導犬に関する国内や世界の状況を知る	●		●	
	5	第1回定期考査					
	6	Lesson 7 Secret of Our Brains (10時間)	【コミュニケーション】本文の内容を補助教材を用いて掘り下げることで、脳について深く理解し、読んだ後に、自分の以前とった行動、特に誤った行動が脳科学的にはどのように解釈できるのかを考えたり、調べたりして発表する。また人の発表を聞いてその趣旨を理解する 【理解】脳にまつわる様々なエピソードを通して、脳の中で起こっている様々な不思議なことを理解する 【知識・理解】①準動詞を用いた第5文型を理解する②見え方について理解し、脳の機能面での凄さを理解する。またよりよい勉強方法についての興味関心を喚起する	●		●	
	7	第2回定期考査					
	8	Lesson 8 The Best Christmas Present in the World (11時間) 【道徳の時間を実施】	【コミュニケーション】本文を読んで、平和の尊さや人と人との心の交流の大切さについて感想を発表したり、人の発表を聞いたりする 【表現】①完了進行形を用いて、正しい文を書く②関係代名詞whatの用法を理解し、正しい文を書く 【理解】物語形式の文章なので、内容の流れに注意して読んでいく 【知識・理解】①物語に多く見られる用法である分詞構文を理解する②戦争や平和について十分な見識を持ち、平和の重要性について理解する	●		●	
	9	Lesson 9 History of Long-distance Races (12時間)	【コミュニケーション】駅伝やマラソンといったスポーツの始まりを学習することを通して、他の日本で人気のスポーツの始まりや人気の秘密を調べて発言しようとする 【表現】①関係副詞when / whereを用いた文の用法を理解し、正しい文を書く②強調構文とthatを用いた形式主語の文の違いを理解し、強調構文を用いて正しい文を書く。 【理解】①駅伝やの始まりを理解し、世界への広がりを漢字ながら読んでいく②マラソンの始まりを読み取り、第1回オリンピックでのギリシア人の活躍を読んでいく 【知識・理解】①関係代名詞と関係副詞の違いを理解する②駅伝をはじめとする日本で人気のスポーツについての知識を深める	●	●		
	10	第3回定期考査					
	11	Lesson 10 Where Does Your Food Come From? (12時間)	【コミュニケーション】日本の食文化とそれを支える食産業の今を学ぶことを通して世界が抱える食料や環境問題を考え、感想を発表したり、人の発表を聞いたりする。 【表現】①仮定法過去の用法を理解し、正しい文を書く②関係副詞why / howの用法を理解し、正しい文を書く③間接疑問を用いて正しい文を書く 【理解】フードマイルズをきっかけとして我々の食文化とそれを支える食産業から我々を取り巻く諸問題を理解する 【知識・理解】①仮定法における解釈の基本的な部分を理解する②日本の食文化を維持するために世界規模で起こる諸問題について理解する	●			●
2	12						
	1	《English Communication II》 Lesson 1 Sakura (12時間) 第4回定期考査	【コミュニケーション】桜にまつわる意外な事実について、知っていることを発言しようとする 【表現】SVC(C=現在分詞・過去分詞)、5文型、現在完了・過去完了を用いて、正しい文を書く 【理解】①日本の桜の多くがソメイヨシノであることを理解する②ソメイヨシノが人工的に作られた品種であることを理解する③ソメイヨシノが桜前線の基準となっている理由を理解する④桜守の仕事内容を理解する 【知識・理解】① SVC(C=現在分詞・過去分詞)、5文型、現在完	●	●		
3							

		<p>了・過去完了の用法を理解する②桜や花見を通してわかる日本人の国民性について理解する③桜を通しての国際交流について理解する</p>		
2	Lesson 2 How Good is Your Memory?	<p>【コミュニケーション】暗記法について、またその効果について、知っていることを発言しようとする</p> <p>【表現】受動態、関係代名詞、関係副詞を用いて、正しい文を書く</p> <p>【理解】①日本と同様、海外にも暗記法が存在することを理解する②古代ローマで発達した「場所法」とその例を理解する③暗記力と脳の働きには相関関係があることを理解する</p>	●	●
3	<p>第5回定期考査</p>	<p>【知識・理解】①受動態、関係代名詞、関係副詞の用法を理解する②日本と世界の暗記法について理解する③さまざまな分野で脳のメカニズムの研究が進んでいることを理解する</p>		
	<p>TOEIC BRIDGE IP</p> <p>Lesson 3 When East Met West in the Kitchen</p>	<p>【コミュニケーション】海外から導入され、日本の食卓に定着した料理について、知っていることを発言しようとする</p> <p>【表現】関係代名詞の継続用法、SVO1O2(that-節)、SVO(wh-節)を用いて、正しい文を書く</p> <p>【理解】①日本が開国により、外国文化を受け入れ始めた時期の社会のようすを理解する②すき焼き、カレーライス、あんぱんが日本食として定着した経緯を理解する</p> <p>【知識・理解】①関係代名詞の継続用法、SVO1O2(that-節)、SVO(wh-節)の用法を理解する②時間的順序を表す語句に注目しながら読む方法を知る③日本における洋食の歴史について理解する④日本食が世界中に広がっていることを理解する</p>	●	●

